



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月6日

上場会社名 第一化成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4235 URL <http://www.dkktokyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 淳文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役法務・コンプライアンス室長 (氏名) 高山 裕史 TEL 042-644-6516

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|------|------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 2,598 | 13.0 | 446 | 49.6 | 541 | 45.0 | 360 | 52.0 |
| 27年3月期第2四半期 | 2,299 | 12.3 | 298 | 29.9 | 373 | 32.8 | 237 | 29.6 |

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 356百万円 (44.7%) 27年3月期第2四半期 246百万円 (37.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 62.11 | 60.19 |
| 27年3月期第2四半期 | 42.44 | 41.65 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 5,712 | 3,545 | 61.7 | 607.44 |
| 27年3月期 | 4,632 | 3,269 | 70.5 | 563.12 |

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,526百万円 27年3月期 3,268百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 17.00 | 17.00 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 15.00 | 15.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-----|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,200 | 9.6 | 814 | 8.4 | 1,005 | 10.9 | 671 | 14.3 | 115.74 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想につきましては、本日（平成27年11月6日）公表いたしました「平成28年3月期第2四半期累計期間における業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 28年3月期2Q | 6,800,000株 | 27年3月期 | 6,800,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期2Q | 994,201株 | 27年3月期 | 996,158株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 28年3月期2Q | 5,805,591株 | 27年3月期2Q | 5,588,199株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安基調の継続、原油安の影響もあり、緩やかな回復基調で推移しておりますが、一方で欧州金融不安に加え、中国をはじめとする新興国に景気減速の兆候が見られ、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような経済状況のもとで当社グループ(当社、連結子会社及び持分法適用会社)は、来年稼働予定の群馬工場を念頭に委託生産を含めた安定供給体制の整備を進めてまいりました。また、新商品開発活動をさらに促進し、高付加価値製品の販売を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は25億98百万円(前年同四半期比13.0%増)、営業利益は4億46百万円(前年同四半期比49.6%増)、経常利益は5億41百万円(前年同四半期比45.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億60百万円(前年同四半期比52.0%増)となりました。

用途別売上概況は、次のとおりであります。

① 家具・車輛用

米国でのトラック、RV向けの販売は落ち込んだものの、飛行機用及びコントラクトマーケット用の販売が好調に推移いたしました。また、従来より注力して開発してきた防汚加工やUV加工等の高付加価値商品への需要が増しており、販売高を底上げております。

この結果、家具・車輛用の売上高は20億61百万円(前年同四半期比19.7%増)となりました。

② 手袋用

米国・欧州向けゴルフグローブ用はカラーバリエーションを充実させた新商品の販売を中心として安定的に推移しております。また、作業用・乗馬用等につきましても顧客ニーズに合った供給を行うことができました。

この結果、手袋用の売上高は2億79百万円(前年同四半期比2.1%増)となりました。

③ その他用

衣料用のファッショントレンドは数年単位で変化するため、そうしたトレンドの変化への対応に努めてまいりましたが、前年は好調に推移していた欧米顧客の需要減退を受け低調に推移いたしました。ケース用や雑貨用につきましても堅調に推移しております。

この結果、その他の売上高は2億37百万円(前年同四半期比15.8%減)となりました。

④ 溶剤(DMF)

製品製造の過程において使用された溶剤(DMF)を回収し、再利用によるコストダウンをはかりながら回収余剰分の販売をしており、売上高は20百万円(前連結会計年度比6.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は37億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億43百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が5億43百万円、受取手形及び売掛金が1億19百万円増加したことによるものであります。固定資産は19億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億36百万円増加いたしました。これは主に新工場建設に係る有形固定資産の取得により3億18百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は57億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億79百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は17億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億7百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は4億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の返済による減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は35億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億75百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益3億60百万円の計上に対し剰余金の配当98百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は61.7%(前連結会計年度末は70.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間において米国を中心とした需要の増加に加え、高付加価値商品の販売が好調に推移したこと、また、最近の業績動向等を踏まえ当初の業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日(平成27年11月6日)公表いたしました「平成28年3月期第2四半期累計期間における業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

追加情報

（賞与支給対象期間の変更）

当第2四半期連結会計期間より給与規程の改定を行い、6月16日から11月15日まで及び11月16日から6月15日までの支給対象期間を4月1日から9月30日まで及び10月1日から3月31日までに変更いたしました。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は19,798千円それぞれ減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,048,669 | 1,592,194 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,315,382 | 1,434,658 |
| 商品及び製品 | 367,157 | 436,831 |
| 仕掛品 | 53,835 | 59,255 |
| 原材料及び貯蔵品 | 106,167 | 92,885 |
| その他 | 111,877 | 130,318 |
| 流動資産合計 | 3,003,090 | 3,746,144 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 540,912 | 540,912 |
| 建設仮勘定 | 374,351 | 685,520 |
| その他 | 322,799 | 330,440 |
| 有形固定資産合計 | 1,238,064 | 1,556,872 |
| 無形固定資産 | 32,102 | 32,828 |
| 投資その他の資産 | 359,539 | 376,621 |
| 固定資産合計 | 1,629,705 | 1,966,323 |
| 資産合計 | 4,632,795 | 5,712,467 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 309,601 | 246,158 |
| 短期借入金 | 300,000 | 1,100,000 |
| 未払法人税等 | 140,529 | 164,007 |
| 賞与引当金 | 41,250 | 65,851 |
| その他 | 152,072 | 174,606 |
| 流動負債合計 | 943,454 | 1,750,623 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 305,900 | 288,260 |
| 役員退職慰労引当金 | 17,920 | 10,900 |
| 退職給付に係る負債 | 87,758 | 85,516 |
| 繰延税金負債 | 8,087 | 6,000 |
| その他 | — | 25,953 |
| 固定負債合計 | 419,666 | 416,630 |
| 負債合計 | 1,363,121 | 2,167,253 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 415,500 | 415,500 |
| 資本剰余金 | 240,120 | 240,120 |
| 利益剰余金 | 3,086,270 | 3,347,682 |
| 自己株式 | △485,415 | △484,868 |
| 株主資本合計 | 3,256,474 | 3,518,433 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 11,791 | 8,216 |
| その他の包括利益累計額合計 | 11,791 | 8,216 |
| 新株予約権 | 1,408 | 18,563 |
| 純資産合計 | 3,269,674 | 3,545,213 |
| 負債純資産合計 | 4,632,795 | 5,712,467 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 2,299,518 | 2,598,731 |
| 売上原価 | 1,724,160 | 1,855,786 |
| 売上総利益 | 575,357 | 742,945 |
| 販売費及び一般管理費 | 276,882 | 296,561 |
| 営業利益 | 298,475 | 446,383 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 23 | 11 |
| 受取配当金 | 931 | 500 |
| 持分法による投資利益 | 71,110 | 86,855 |
| その他 | 4,092 | 10,115 |
| 営業外収益合計 | 76,157 | 97,482 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 984 | 2,269 |
| その他 | 88 | 28 |
| 営業外費用合計 | 1,073 | 2,297 |
| 経常利益 | 373,559 | 541,568 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 5,205 |
| 特別利益合計 | — | 5,205 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 682 | 1,261 |
| 特別損失合計 | 682 | 1,261 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 372,877 | 545,512 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 111,785 | 205,404 |
| 法人税等調整額 | 23,931 | △20,452 |
| 法人税等合計 | 135,716 | 184,952 |
| 四半期純利益 | 237,160 | 360,559 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 237,160 | 360,559 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 237,160 | 360,559 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,781 | — |
| 為替換算調整勘定 | 3,846 | △3,574 |
| その他の包括利益合計 | 9,627 | △3,574 |
| 四半期包括利益 | 246,788 | 356,985 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 246,788 | 356,985 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 372,877 | 545,512 |
| 減価償却費 | 25,887 | 30,777 |
| 株式報酬費用 | 2,098 | 17,219 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 10,273 | 24,600 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △2,500 | — |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △7,898 | △2,242 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △48,538 | △7,020 |
| 固定資産除却損 | 682 | 1,261 |
| 固定資産売却損益(△は益) | — | △5,205 |
| 受取利息及び受取配当金 | △949 | △511 |
| 支払利息 | 984 | 2,269 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △71,110 | △86,855 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △76,444 | △119,276 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △74,776 | △61,812 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 66,795 | △63,443 |
| その他 | △31,021 | △9,754 |
| 小計 | 166,360 | 265,519 |
| 利息及び配当金の受取額 | 87,238 | 100,835 |
| 利息の支払額 | △947 | △2,284 |
| 法人税等の支払額 | △221,063 | △193,410 |
| 法人税等の還付額 | 1 | 7,332 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 31,589 | 177,992 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △512,978 | △325,207 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 13,700 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △9,286 | △11,920 |
| その他 | 40,212 | 4,514 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △482,051 | △318,912 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 200,000 | 800,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △10,440 | △17,640 |
| 自己株式の取得による支出 | △495 | △35 |
| ストックオプションの行使による収入 | — | 896 |
| 配当金の支払額 | △67,148 | △98,665 |
| その他 | — | △110 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 121,915 | 684,444 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △328,545 | 543,524 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,247,682 | 1,048,669 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 919,137 | 1,592,194 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

当社グループは、合成皮革製品の単一セグメントであるため、記載を省略しております。